

まちづくり委員会 基本方針

まちづくり委員会

委員長 菅原 哲

『誇りあるまちづくり』

2014年、私は地域おこし協力隊として滝川市に移住しました。この地に暮らし多くの方々と関わる中で、まちの風土や文化に数えきれないほどの魅力があると感じましたが、市民の方々からは「活気を取り戻したい」との声を聞くこともありました。我々は市民と共に誇りあるたきかわのまちを創り、次の世代へ繋いでいくために、市民の郷土愛を喚起し、災害対策、環境問題、都市部への人口流出などの社会問題に取り組み、未来を切り拓くアクティブ・シチズンとして共に活動していかなければなりません。

まずは、日本一の景観を誇る菜の花畑、ソウルフードである味付けジンギスカン、りんご・たまねぎ・米といった農産物などを市内外に発信するために、風景や食を楽しむことができる事業を構築し、参加した皆様にたきかわの魅力をより深く理解していただくことで、まちへの誇りを醸成して参ります。そして、滝川市には難病と闘う子どもたちの「外で遊びたい」という夢を叶えるためのアジア圏で唯一の自然体験施設「そらぷちキッズキャンプ」があり、これまで滝川青年会議所は支援事業に取り組みで参りました。近年では「POWER OF LIFE」として多角的な支援を展開しており、本年度においても、一人でも多くの賛同者・支援者を増やすために、青年会議所のネットワークを活かして情報を発信し、事業内容を理解していただき、あたたかい支援の輪を広げる活動に取り組みます。さらに、たきかわに関わるすべての方々に郷土愛を醸成するために、本年度で10回目となる「たきかわ納涼盆踊り花火大会」の開催にオールたきかわで取り組むことで、運営に参画された方々に達成感を持っていただくとともに、来場者一人ひとりに笑顔の花を咲かせ、記憶に残る夏の風物詩として参ります。また、市民の皆様に対して災害対策や環境問題はとて身近かつ喫緊の課題であることを認識していただくために、年間を通じて啓蒙活動を実施し、地球市民としての当事者意識を醸成します。そして、地元で生きる若者が幾多もある地域の宝をその手で掴みまちの将来を担っていく足がかりとするために、たきかわにある学び・体験・仕事の魅力を余すことなく伝える事業を構築し、自分のまちに対し誇りを持つ未来の人財を育成します。

先輩諸氏が築き上げてきた歴史と伝統を忘れることなく、次代への希望を持ったまちの方々と協力体制を築きながら、これらの事業に取り組み、魅力を掘り起こし、磨き、発信していきます。共に助けあい、学び合う「共利群生」の理念のもと、誇りあるアクティブ・シチズンとして、率先して未来を切り拓き続けるために邁進して参ります。